

# 32 水産資源・海洋環境のデータ分析体制の構築 (水産資源評価対策支援事業)

【令和元年度補正予算額 100百万円】

## <対策のポイント>

迅速な資源管理の強化や不漁対策に資するよう、**水産資源や海洋環境の迅速なデータ解析等のシステムの構築を支援します。**

## <政策目標>

戦略的な研究開発と技術移転の加速化、漁業経営の安定、国立研究開発法人水産研究・教育機構の中長期目標の達成

## <事業の内容>

### ○ データ解析・シミュレーション高度化に係るシステム構築

適切な水産資源の管理に不可欠な資源評価を迅速に行い、情報提供することで、迅速な資源管理の強化や不漁対策に資するよう、国立研究開発法人水産研究・教育機構に、水産資源及び海洋環境のデータ解析や高度なシミュレーションを高速で行うシステムを構築します。

## 現 状

- 最大持続生産量(MSY)を目標とした**世界水準に適合する資源評価手法の導入**が必要
- 有効な資源管理は、科学的根拠に基づく海洋環境の情報を考慮した関係者の合意形成が重要
- ↓
- 水産資源や海洋環境のシミュレーションの高度化のため、**スーパーコンピューター**を用いた迅速なデータ解析と情報提供システムの構築が必要

## 整備

- スーパーコンピューター稼働に必要な室内環境(温度・湿度・空気清浄)を制御・管理するネットワーク・データサーバ運用室を整備
- 水産資源・海洋環境のデータを解析するアプリケーションを搭載したスーパーコンピューターを設置



## 期待される効果

- MSYを目標とした新たな資源評価やTACの設定に必要な**科学的根拠となるデータの解析**を迅速かつ円滑に遂行することにより、関係者の合意形成を促進。
- 海洋予測システムの高度化により**高精度の予測情報を国民に提供**

※得られたデータを基に、解析モデルを構築し、**水産資源と海洋環境の関係等をシミュレーション**

## <事業の流れ>



国立研究開発法人水産研究・教育機構